

# 令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県総合グランド		
所在地	広島市西区観音新町二丁目11番124号		
設置目的	スポーツの普及発展と県民の体位の向上を図る		
施設・設備	メインスタジアム、補助競技場、野球場、ラグビー場、運動場等		
指定管理者	5期目	R 3. 4. 1～R 8. 3. 31	ひろしま未来創造パートナーズ (ミズノ・ミズノスポーツサービス・広島県教育事業団・ユニサス・持続未来共同企業体)
	4期目	H28. 4. 1～R 3. 3. 31	セイカスポーツセンター・鹿島建物・西尾園芸共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ミズノ・広島県教育事業団グループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	広島県教育事業団
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	ポラーノグループ特定共同企業体

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R4	400,000人	230,563人	55,268人
R3		370,000人	175,295人	△157,857人	△194,705人 (47.4%)
	4期平均 28～R2	397,400人	333,152人	△ 44,203人	△ 64,248人 (83.8%)
	3期平均 23～27	315,000人	377,355人	75,525人	62,355人 (119.8%)
	2期平均 20～22	291,000人	301,830人	31,412人	10,830人 (103.7%)
	1期平均 17～19	292,000人	270,418人	26,922人	△ 21,582人 (92.6%)
	H16 (導入前)	—	243,496人	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限が緩和され、各種スポーツ大会が開催されたため、前年度に比較して利用者数が増加した。				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		利用者意見箱「皆様の声」設置
	利用者アンケート実施：(年2回)	施設利用者：65件
	自主事業アンケート実施：(18教室)	スポーツ教室及びイベント参加者：約110件
	【主な意見】	【その対応状況】
	ラグビー場の選手控室が汚い。	選手控室は毎日清掃し、清掃状況を確認し快適に利用できるよう努めた。
	冬期時間(18時まで)を20時までにしてほしい。	利用時間の延長については、施設の利用頻度や状況を考慮しながら引き続き検討する。 なお、11月から3月までとしていた冬期時間の運営は、11月から2月までに短縮した。
	陸上競技場のスターティングブロックの老朽化が気になる。	既存のスターティングブロックは、購入から約30年が経過し、フットプレートのゴム部が劣化するなど消耗が激しかったため、必要台数を更新した。

#### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	○	修繕作業報告書、事故報告、苦情報告等
管理運営会議 （12回・広島県庁）	<b>【特記事項等】</b> 施設利用状況、自主事業実施状況、施設・設備の管理状況等の報告と意見交換協議を行った。		
現地調査 （4月、10月、12月、 2月、3月に実施）	<b>【指定管理者の意見】</b> 施設・設備の状況を把握し、修繕計画を提案。  <b>【県の対応】</b> 施設・設備の計画的な修繕の実施。		

#### 5 県委託料の状況

（単位：千円）

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	5期					5期			
県委託料 （決算額）	5期	R4	95,719	△588	料金 収入 （決算額）	5期	R4	18,637	3,897
		R3	96,307	8,413			R3	14,740	△2,346
	4期平均 H28～R2		87,894	7,810		4期平均 H28～R2		17,086	△127
	3期平均 H23～H27		80,084	2,857		3期平均 H23～H27		17,213	1,810
	2期平均 H20～H22		77,227	△19,397		2期平均 H20～H22		15,403	△1,323
	1期平均 H17～H19		96,624	△62,146		1期平均 H17～H19		16,726	△529
	H16（導入前）		158,770	-		H16（導入前）		17,255	-

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	95,719	96,307	△588	管理運営費及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴う県からの委託料の減
		料金収入	18,637	14,740	3,897	利用料金制（※1）利用者数が増えたことによる増
		その他収入	3,381	6,688	△3,307	県の利用料金減免負担及び工事に伴う営業補償の減
		計(A)	117,737	117,735	2	
	支 出	人件費	36,488	35,889	599	パートタイマーの賃上げによる増
		光熱水費	14,926	10,886	4,040	燃料価格高騰による増
		設備等保守点検費	13,493	13,493	0	
		清掃・警備費等	32,856	32,877	△21	
		施設維持修繕費	4,111	4,319	△208	外部委託業務を一部直営化したことによる減
		事務局費	5,349	5,206	143	パンフレット、動画作成による増
		その他	9,554	10,271	△717	公課費の減
	計(B)	116,777	112,941	3,836		
		収支①(A-B)	960	4,794	△3,834	
自主事業 (※2)	収 入(C)	3,649	1,867	1,782	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う自主事業の制限がなかったため	
	支 出(D)	3,345	1,367	1,978		
	収支②(C-D)	304	500	△196		
合計収支(①+②)		1,264	5,294	△4,030		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島県総合グラウンド設置及び管理条例・管理運営規則・仕様書を遵守し、適正に業務を実施した。	施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限が緩和され、ラグビーリーグワン公式戦や全国高校野球選手権広島大会などの各種競技大会を開催することができた。 また、自主事業として広スタラグビー大会や、スポーツの日記念事業等のスポーツ大会やイベントを開催し、スポーツの普及と県民の体位の向上に努めた。	施設内の感染拡大防止策を徹底し、施設の安全性の確保に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	新聞折り込みを活用したフィットネス教室の紹介、施設パンフレットの刷新、施設紹介ビデオの作成、ホームページでの情報発信により、利用促進に努めた。	積極的に情報発信を行うなど、利用促進に向けた取り組みを実施している。
	○施設の維持管理	利用者ニーズに対応し、メインスタジアム電光掲示板の一部が表示できなくなったため、電源ユニット交換工事を実施した。 玄関ロビー・トレーニング室・会議室の一部の照明器具のLED化工事を実施した。 場内に枯木あり、倒木などの危険があったため伐採作業を実施した。	利用者の立場を考慮し、優先順位を付けながら迅速に修繕対応等を行っている。 積極的な自主修繕を行い、利用環境の改善や安全管理に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	事業計画書のとおり、必要な資格を有する経験豊富な人材の組織体制で管理運営を実施した。 共同企業体各社が役割分担を明確にし、各業務に専任責任者を配置することで、連携を密にしてきめ細かい維持管理を実施した。	職員の配置、緊急時の連絡体制の整備は、仕様書及び事業計画書に沿って適切になされている。
	○効率的な業務運営	顧客満足度向上への取り組みとして、専門スタッフによる接客接遇研修やサービス向上に向けた研修、防災訓練を実施し、スタッフの能力向上を図った。	利用者の立場に立った丁寧な対応を行っている。 また、各種研修の実施等により、利用者サービスの向上や利用者の安全確保体制の強化を図っている。
	○収支の適正	支出については、燃料価格高騰により光熱水費が増加したものの、収入については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限が緩和したことなどにより利用者が増え、料金収入が増加したため、黒字を確保することができた。全体調整を行いながら適正な予算管理に努めた。	適正な予算管理に努めている。

<p>総 括</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限等が緩和したことにより、利用者数は回復傾向にある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことから、利用者数の目標達成に向けて、引き続き施設の利用促進及びサービスに向上に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防対策を適切に行いながら、指定管理者のノウハウを活かした健康増進と体力向上に寄与するスポーツ教室やイベントを実施している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、引き続き利用促進に向けた取組が必要である。</p>
------------	---	--

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルスが明けて、感染予防対策に努めながらコロナ前の利用者数に戻すための施策を実施。</li> <li>○ 不具合箇所発生時の迅速な修繕対応。</li> <li>○ 事業計画書に沿った業務の遂行。</li> </ul>	<p>利用者が安全・安心にスポーツ等を実施できる環境づくりに取り組むことで、利用者の維持・回復に努める。</p>
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経年劣化が著しい施設、設備の修繕計画の提案、協議の実施。</li> <li>○ 更なるデジタル化の推進を検討。 (ウェブ上での施設の利用予約、自主事業の申込・決済など)</li> </ul>	<p>施設の保全並びに機能維持と利用者の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図るため、利用者のニーズや安全性等による優先度に応じて計画的に施設設備の改修を行う</p>